

I 新たな時代の観光への対応

1 関係人口創出に向けた裾野の拡大

(1) デジタル技術を活用した持続的な関係づくり

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやま観光情報 発信強化事業 (12,708千円)	「とやま観光ナビ」を中心とした観光情報の発信や、WEB広告・SNS等を活用し、サイトへの流入増加に取り組み、デジタルでの観光情報発信を強化した。	観光振興室
「旬のとやま旅」 情報発信事業 (15,000千円)	コアな富山ファンやリピーターの獲得に繋げるため、自然や食文化、伝統文化等の旬の富山県ならではの観光の魅力をデジタルと紙媒体を有効に組み合わせながら制作・発信・検証した。	観光振興室
インバウンド向けHP及び情報 発信強化事業 (13,700千円)	外国人観光客のさらなる誘致のため、HPとSNSの一体的かつ効果的な運用及び情報発信を行った。	観光振興室

(2) インフルエンサーなど誘客の起点となるコアな富山ファンの創出

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやま観光情報 発信強化事業 (再掲) (12,708千円)	「とやま観光ナビ」を中心とした観光情報の発信や、WEB広告・SNS等を活用し、サイトへの流入増加に取り組み、デジタルでの観光情報発信を強化した。	観光振興室
JR連携富山フ ァン創出事業 (22,044千円)	首都圏での富山ファン創出・誘客促進を図るため、JR会員組織と連携した情報発信や誘客を行った。 ・JR東日本の旅行会員組織「大人の休日倶楽部」と連携したツアー・趣味の会講座の開催 ・駅たびコンシェルジュ向け勉強会等の開催 ・首都圏の主要な駅での物産展の開催 など	観光振興室

(3) 発地でのリアルな富山体験等による関係人口創出

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
関西圏情報発信 拠点整備推進事業 (24,773千円)	令和6年7月末に、KITTE大阪にて北陸三県の情報発信拠点である「HOKURIKU+」の開設準備を進めるために、協議会を設置し、店舗設計・内装工事等を実施した。	観光振興室
「ツーリズムEXPOジャパン」出展事業 (7,970千円)	世界最大級の旅のイベント「ツーリズムEXPOジャパン2023」に富山県ブースを出展して本県への誘客を促進した。	観光振興室
富山県の物産と観光展の開催 (6,963千円)	本県への誘客を図るため、JR浦和駅(さいたま市)において、令和6年1月13日～14日に「とやまの観光とうまいもの展」を開催し、本県の物産と観光地の魅力を発信した。	観光振興室
北陸新幹線延伸に向けた首都圏魅力発信強化事業 (6,500千円)	<p>首都圏メディアへのリリース配信や、人的ネットワークを活用した魅力発信及びとやまの地域伝統芸能(おわら、麦屋節、こきりこ等)の披露や体験等による情報発信を実施することにより、首都圏での関係人口の創出を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リリース配信33回 ・「富山の極味 in Tokyo」の作成・配布 ・首都圏イベント等でのとやまの地域伝統芸能の披露・体験等8回等 	首都圏本部
首都圏マーケティングin日本橋とやま館事業 (6,246千円)	これまでの取り組みで積上げてきた基盤・関係性を最大限活用して、日本橋とやま館で富山の食・ものづくり・自然などテーマに、富山の魅力をリアルに体感するイベントの実施を通じ、県内観光地や県産品の発信力を強化した。	観光振興室
“Relation and Reaction”ご縁でつながる関係人口創出事業 (3,236千円)	<p>県産品販売や誘客だけではなく、本県出身の偉人や本県とのつながりを体感することで関係人口の創出につなげるため、本県とのゆかりが深い企業やイベントにおいて物産展や展示を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本県ゆかりの企業やイベントにおける物産展・展示等の実施 計5か所 	成長戦略室

2 ウェルビーイング・魅力の再発見とマイクロツーリズム定着

(1) 地元の魅力再発見・発信やふるさと教育による観光地域ブランディングの推進

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
越中富山ふるさとチャレンジ事業 (4,000千円)	富山の自然や歴史、文化などに関する施設を巡る「ぐるっと富山ラリー」の実施により、県民がふるさと富山の魅力を再発見する機会を創出した。 ・スタンプラリー 総応募件数 1,477件 ・モバイルラリー 総応募件数 347件 等	ワンチームとやま推進室
富山ふるさとマスター派遣事業 (800千円)	学校、企業、地域住民、市町村等が開催するふるさとに関する研修会等に、越中富山ふるさとチャレンジ上級合格者等（富山ふるさとマスター）を講師として派遣することなどにより、ふるさとへの誇りや愛着を育む気運の醸成を図った。 ・富山ふるさとマスター登録者数 20人 ・派遣回数 23回	ワンチームとやま推進室
関係人口 1,000万人協働促進事業 (3,694千円)	県内のボランティア団体等が、他の団体、自治振興会、企業等と協働し、新たな発想で地域活性化を図る事業に対して、広く支援した。 ・補助件数 17件	県民生活課
文化財の美装化等推進事業 (7,540千円)	重要伝統的建造物群保存地区「山町筋・金屋町・吉久」の町並みの外観修理に対して、支援した。 ・補助件数 1件	生涯学習・文化財室
文化財ボランティアの外国人対応力向上事業 (0千円)	おもてなし向上講座開催 ・開催日：令和6年3月10日 ・参加者：30名（文化財ボランティア団体） ※能登半島地震の影響等により事業中止	生涯学習・文化財室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやまのユネスコ無形文化遺産情報発信事業 (171 千円)	<p>とやまのユネスコ無形文化遺産普及啓発事業協議会を立ち上げ、本県のユネスコ無形文化遺産の人材育成・情報発信を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とやまのユネスコ無形文化遺産記録保存事業 <p>※下記2事業は能登半島地震の影響により中止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光ボランティア養成事業（高岡市で開催） ・ユネスコ無形文化遺産保存伝承事業（巡回パネル展）の実施（滑川市、砺波市で開催） 	生涯学習・文化財室
県民ふるさとの日記念事業 (1,425 千円)	<p>5月9日の県民ふるさとの日に、県の施設の無料開放を実施。また、記念式典を開催し、「県民ふるさと大賞」を授与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：令和5年5月14日（日） ・表彰団体：6団体 	観光振興室
全国観光需要促進事業 (2,053,690 千円)	<p>コロナ禍における観光需要の創出のため、引き続き、全国旅行支援等を実施した。</p> <p>○富山で休もう。とやま観光キャンペーン (全国旅行支援)【第2弾】 期間：令和5年1月10日～令和5年9月30日 (※令和5年7月1日～令和5年9月30日は団体旅行のみ) 実績：宿泊割引額 13 億 1,398 万円 (58 万 3,805 人泊)</p> <p>また、全国旅行支援の利用を促進するため、各種プロモーションを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道における観光物産展開催 ・富山湾鮭オブジェの制作 ・観光ノベルティグッズの制作 	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
観光需要等回復 支援事業 (130,495千円)	<p>観光需要を本県に取り込むためのキャンペーン等を実施し、観光関連事業者を支援した。</p> <p>○特産品プレゼントキャンペーン 令和5年4月1日～令和5年9月30日の期間、県内宿泊施設の宿泊者に特産品(5,000円相当)をプレゼントする「とまって富山、もらって富山キャンペーン」を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総応募者数 30,371名 ・当選者数 8,850名 	観光振興室

(2) 暮らしを体験できる観光サービスの充実に向けた事業化支援と担い手育成

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやま観光塾事業 (18,838千円)	<p>おもてなし力の向上やお客様に満足いただける観光ガイドの育成、魅力ある観光地域づくりをリードする人材の育成を図った。</p> <p>○修了生 64名 (内訳) 観光DX・インバウンド対応基礎コース 9名 観光ガイドコース(中級専攻) 10名 観光ガイドコース(インバウンド専攻) 9名 観光魅力アップコース 5名 グローバルコース 12名 暮らすように旅するツアー造成研修 19名</p>	観光振興室
「暮らすような旅」観光サービス提供体制強化事業 (5,000千円)	<p>知的好奇心が旺盛で本物志向、消費ポテンシャルが高い欧米を中心とした「高付加価値旅行者」が本県を訪れるよう、女性の力を活かした「暮らすような旅」サービス商品造成のためのセミナーなどを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー実施回数：7回(モニターツアー含む) 全体参加者 19名 <p>また、英語ガイド付き着地型旅行商品の造成と販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売数：2商品 	観光振興室

(3) マーケティングに基づく県民・近隣県民向け情報発信・誘客と観光コンテンツの充実

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
マイクロツーリズム推進事業 (4,102千円)	令和3年度以降の「マイクロツーリズム推進に向けた調査事業」、「マイクロツーリズム推進に向けた検討事業」における分析結果を活用し、近隣県からの誘客を促進。令和5年12月～令和6年2月の期間に誘客ターゲットへの広報宣伝・とやま観光ナビを活用し、宿泊プラン掲載を実施し、アンケート調査により、結果の分析・効果検証を実施した。	観光振興室

3 デジタル技術の活用

(1) 需要喚起・誘客促進のデジタルシフト

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
インバウンド向けHP及び情報発信強化事業 (再掲) (13,700千円)	外国人観光客のさらなる誘致のため、HPとSNSの一体的かつ効果的な運用及び情報発信を行った。	観光振興室
首都圏マーケティング in 日本橋とやま館事業 (再掲) (6,246千円)	これまでの取り組みで積上げてきた基盤・関係性を最大限活用して、日本橋とやま館で富山の食・ものづくり・自然などテーマに、富山の魅力をリアルに体感するイベントの実施を通じ、県内観光地や県産品の発信力を強化した。	観光振興室

(2) デジタル技術を活用した観光コンテンツ・サービスの充実化

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
持続可能な観光地域づくり支援事業 (12,745千円)	新たな観光コンテンツの造成、販路開拓・売上向上・リピーターの獲得、安全安心で利便性の高い受入環境整備、祭り等の再生による観光誘客を支援した。 ・補助件数 21件	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「立山黒部」持続可能性観光地調査支援事業 (26,829千円)	立山黒部貫光(株)が行う、立山黒部アルペンルート全体の構想の策定に向けた、立山ケーブルカー施設耐用性調査等の基礎調査や、観光客の利便性向上に資する、WEB予約システムの機能向上等のDX化の取組みを支援した。	観光振興室

(3) データを活用した効果的・効率的な観光地経営

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ICTを活用したデータの収集・分析事業 (3,668千円)	富山県立大学と共同で旅行者へのウェブアンケート調査を実施し、旅行者データベースを構築することにより、ターゲットに応じたプロモーション等への活用を図るとともに、オープンデータ化により観光事業者等に向けデータ提供を行った。	観光振興室

(4) 顧客情報を活かしたリピーター確保と受入態勢整備

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
首都圏とやまの魅力発信事業 (25,621千円)	首都圏において富山県の魅力をPRするため、日本橋とやま館を活用し、館主催及び県内市町村、県庁内各課との共催イベントの開催や、本県の魅力を紹介するフリーペーパーの発行、スタンプラリーや地域イベントへの参加などにより、本県独自の魅力について情報発信を行った。	観光振興室

4 ウィズコロナへの対応

(1) 安全・安心の環境整備及び情報発信

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
持続可能な観光地域づくり支援事業(再掲) (12,745千円)	新たな観光コンテンツの造成、販路開拓・売上向上・リピーターの獲得、安全安心で利便性の高い受入環境整備、祭り等の再生による観光誘客を支援した。 ・補助件数 21件	観光振興室

(2) 「新しい生活様式」に対応した観光コンテンツの創出

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
持続可能な観光 地域づくり支援 事業(再掲) (12,745千円)	<p>新たな観光コンテンツの造成、販路開拓・売上向上・リピーターの獲得、安全安心で利便性の高い受入環境整備、祭り等の再生による観光誘客を支援した。</p> <p>・補助件数 21件</p>	観光振興室
ワーケーション・テレワーク 推進事業 (5,075千円)	<p>テレワークなど新しい働き方の変化に対応し、富山ならではのワーケーションを推進するため、戦略的なPRや県外企業・個人等への支援を実施した。</p> <p>・県内でのワーケーション実施者への助成利用者 延べ80名</p>	成長戦略室

II 持続可能な観光地域づくり

1 戦略的な観光地域づくり

(1) 県DMOの組織・機能のさらなる充実と専門性向上による「稼げる」観光地域づくり

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ICTを活用したデータの収集・分析事業 (再掲) (3,668千円)	富山県立大学と共同で旅行者へのウェブアンケート調査を実施し、旅行者データベースを構築することにより、ターゲットに応じたプロモーション等への活用を図るとともに、オープンデータ化により観光事業者等に向けデータ提供を行った。	観光振興室
富山県観光客動態調査(観光地点パラメータ調査)事業 (4,380千円)	観光客の県内観光地の訪問地点数や観光消費額等の算定の基礎とするため、観光客に面接アンケートを実施した。	観光振興室
観光マーケティング戦略会議運営等事業 (2,750千円)	マーケティングデータに基づき、DMOの取組みや、今後のDMO事業の方向性について意見を伺った。	観光振興室
関係者を巻き込むための普及啓発事業 (16千円)	(公社)とやま観光推進機構の会員事業者(観光事業者、交通事業者、宿泊事業者等)、市町村、観光協会等を対象に、アドベンチャーツーリズムに関するセミナーを開催した。	観光振興室
観光資源重点磨き上げ支援プロジェクト実施事業 (3,900千円)	意欲のある市町村と連携し、四季を通じて県内の上質なライフスタイルを体験できる富山ならではの観光資源の掘り起こし・磨き上げを行った。	観光振興室
新旅行造成市町村タイアップ事業 (15,000千円)	北陸新幹線敦賀開業や北陸DCに向け、市町村と連携した県内周遊促進、海外向けOTAでの商品販売促進、県内事業者のおもてなしに関するPR、県内観光素材の公式宣材写真撮影等を実施した。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
まるごと旅行商品化プロジェクト実施事業 (14,933千円)	県内市町村、観光協会、観光事業者等と連携し、着地型旅行商品の商品化をサポートするとともに、大都市圏を中心とした大手旅行会社への営業活動を行い、旅行会社による富山旅行商品の造成を促進した。	観光振興室
マーケティングデータに基づくPR事業 (10,092千円)	新聞・テレビ・雑誌などの編集者などを招聘し、取材記事の掲載を働きかけることにより本県のパブリシティの強化を図るほか、観光人材の育成、富山県観光公式サイト「とやま観光ナビ」ふおとやまライターによる富山の魅力発信を行った。	観光振興室

(2) 観光を担う人材育成と地域における活躍促進

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやま観光塾事業(再掲) (18,838千円)	おもてなし力の向上やお客様に満足いただける観光ガイドの育成、魅力ある観光地域づくりをリードする人材の育成を図った。 ○修了生 64名 (内訳) 観光DX・インバウンド対応基礎コース 9名 観光ガイドコース(中級専攻) 10名 観光ガイドコース(インバウンド専攻) 9名 観光魅力アップコース 5名 グローバルコース 12名 暮らすように旅するツアー造成研修 19名	観光振興室
おもてなしタクシードライバー実践力アップ事業 (914千円)	タクシードライバー向けに画像付きの音声講座を配信し、観光案内や接客等、おもてなし力の向上を図った。 ・20本制作、配信 (令和5年4月12日から令和6年2月16日まで) ・季節毎のイベント情報や接客、インバウンド観光客対応(英会話)など タクシー利用者の満足度向上を図るため、質の高いおもてなしやきめ細かなサービスを提供できる「おもてなしタクシードライバー」を表彰し、ドライバーの接客やサービス意識の向上を図った。 ・受賞者6名	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「暮らすような旅」観光サービス提供体制強化事業（再掲） (5,000千円)	<p>知的好奇心が旺盛で本物志向、消費ポテンシャルが高い欧米を中心とした「高付加価値旅行者」が本県を訪れるよう、女性の力を活かした「暮らすような旅」サービス商品造成のためのセミナーなどを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー実施回数：7回（モニターツアー含む） 全体参加者 19名 <p>また、英語ガイド付き着地型旅行商品の造成と販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売数：2商品 	観光振興室

（３）旅行者が満足度の高い旅を楽しめる受入環境の整備

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ハローとやま☆貼ろう事業 (1,800千円)	<p>富山県の観光ポスターを作成し、県内外の事業所や飲食店に掲示することにより、観光振興への地域の機運を醸成するとともに、誘客促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成部数 新作 500部（1種類） 増刷 900部（3種類） 	観光振興室
観光地誘導案内デザイン統一化促進事業 (2,605千円)	<p>外国語標記に対応した統一のデザインによる観光地誘導案内標識を整備し、旅行者の利便性向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域観光案内標識（県事業） 改修件数 2件、24基 ・外国語観光サイン整備（市町村補助事業） 補助件数 新設4件 改修6件 	観光振興室
旅館施設近代化等促進事業 (490千円)	<p>宿泊施設が行う客室の増設やリニューアルなどの整備に対する融資（富山県商業サービス業活性化資金観光旅館施設整備枠融資制度）により、宿泊施設の誘客力の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・融資件数 継続分 1件 	観光振興室
クルーズ乗船客おもてなし向上事業 (3,948千円)	<p>寄港時の歓迎行事等、おもてなしに要する経費を支援した。</p>	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
自然公園等整備 事業等 (43,952千円)	わが国を代表する山岳公園「中部山岳国立公園」の主要利用拠点である、立山黒部アルペンルート沿線や黒部峡谷において、安全で快適な利用を推進するために歩道や山岳トイレ等の整備を行い、観光客の利便性の向上などを図った。	自然保護課
生活衛生関係営業施設における利用者サービスの向上に対する支援 (246千円)	県内外からの宿泊利用者向けに、富山県内のホテル旅館を一覧できるパンフレットを作成し県内の宿泊施設やホテル以外の生衛業種店舗に配置する事業に対し、補助を行った。	生活衛生課
有峰森林文化村推進費 (51,314千円)	豊かな森林を有する有峰において、利用者が有峰森林文化村公園の魅力を体験できるような行事活動の推進及び宿泊施設である有峰ハウスや活動拠点施設である有峰ビジターセンターなどの適切な管理運営を行った。	森林政策課
県立都市公園の整備・改修 (871,838千円)	<p>県民のみならず県外からの観光客にも多く利用される憩いの場やスポーツ・レクリエーションの場である県立都市公園の整備・改修を実施し、利用者の利便性向上などを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県立都市公園 県民公園太閤山ランド、総合運動公園、五福公園、岩瀬スポーツ公園、常願寺川公園、空港スポーツ緑地、富岩運河環水公園、県庁前公園、県民公園新港の森 	都市計画課 環境政策課
県立都市公園の維持管理 (1,031,304千円)	<p>県立都市公園の適正な維持管理に努め、利用者の安全と満足度の向上などを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県立都市公園 県民公園太閤山ランド、総合運動公園、五福公園、岩瀬スポーツ公園、常願寺川公園、空港スポーツ緑地、富岩運河環水公園、県庁前公園、県民公園新港の森 	都市計画課 環境政策課

(4) 観光産業と他産業連携による域内経済循環の促進

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
(公社) とやま 観光推進機構運 営費等補助金 (9,474 千円)	富山県内における観光事業の健全な発展及び振興並びに地域の活性化に取り組む(公社) とやま観光推進機構の運営に対し補助を行った。	観光振興室
産業観光魅力創 出事業 (1,913 千円)	産業観光魅力創出補助金により、県内企業の受入態勢の整備に対する支援を行った(10件)。	観光振興室
とやま伝統工芸 プロモーション 戦略事業 (2,965 千円)	伝統工芸品の魅力をPRし販路を拡大するため、MUJI ホテル北京において交流サロンイベントを開催し、職人による実演・製作体験イベントを実施した。 中国向け越境ECサイトにおいて県産品のPR記事を作成するとともに、インフルエンサーによる動画配信を実施した。	地域産業支援課

(5) 外国人個人旅行者(FIT)受入環境の整備

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
訪日旅行商品造 成支援事業 (136 千円)	FIT向け旅行商品の造成のため、台湾の現地旅行会社にてセールスを実施した。	観光振興室
富山県外国人旅 行者受入環境整 備促進事業 (589 千円)	多言語でのパンフレット制作や免税手続機器の導入、商品開発支援など新たな消費拡大の取組みに対する支援等により、受入環境の整備を図った。	観光振興室
観光地誘導案内 デザイン統一化 促進事業 (2,605 千円)	外国語標記に対応した統一のデザインによる観光地誘導案内標識を整備し、旅行者の利便性向上を図った。 ・広域観光案内標識(県事業) 改修件数 2件、24基 ・外国語観光サイン整備(市町村補助事業) 補助件数 新設4件 改修6件	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山駅観光総合案内所運営事業 (再掲) (17,128千円)	訪日外国人対応を強化するため、英語、中国語対応が可能な観光コンシェルジュを富山駅構内に配置した。	観光振興室
とやま観光塾事業 (再掲) (18,838千円)	おもてなし力の向上やお客様に満足いただける観光ガイドの育成、魅力ある観光地域づくりをリードする人材の育成を図った。 ○修了生 64名 (内訳) 観光DX・インバウンド対応基礎コース 9名 観光ガイドコース(中級専攻) 10名 観光ガイドコース(インバウンド専攻) 9名 観光魅力アップコース 5名 グローバルコース 12名 暮らすように旅するツアー造成研修 19名	観光振興室
とやま名誉友好大使の委嘱 (83千円)	外国人の本県在住経験者に対し「とやま名誉友好大使」を委嘱し、富山県を広く海外に紹介してもらうことにより、本県への関心を高め、観光客の誘致促進を図った。 ・新規委嘱数 27人 (全体 1,645人委嘱)	国際課

2 広域観光の拠点化

(1) 広域観光の拠点としての機能充実と情報発信

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
広域観光案内所運営事業 (2,200千円)	新幹線駅など県内2か所の広域観光案内所の運営に対し、支援を行った。	観光振興室
富山駅観光総合案内所運営事業 (17,128千円)	訪日外国人対応を強化するため、英語、中国語対応が可能な観光コンシェルジュを富山駅構内に配置した。	観光振興室

(2) 主要駅、富山きときと空港等と観光地を結ぶ二次交通の利便性向上

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ぐるっと富山観光地アクセス充実事業 (12,977千円)	旅行者が周遊しやすい環境づくりを進めるため、県内の主要駅等を発着する観光路線バスの運行経費の一部に対し助成した。 ・補助件数 観光路線バス 4件	観光振興室
乗りたくなる公共交通推進事業費補助金 (961千円)	交通事業者等が実施するバスや軌道車両のイメージアップのための取組み(車両のラッピングなど)を支援し、観光客の公共交通機関の利用促進を図った。 ・補助件数 6件	交通戦略企画課
新幹線アクセス路線バス等運行支援事業 (3,075千円)	旅行者が周遊しやすい環境づくりを進めるため、新幹線駅から並行在来線駅や県内観光地等を結ぶアクセス交通の運行事業に対し支援した。 ・補助件数 2件	交通戦略企画課
富山空港利用促進貸切バス助成事業 (263千円)	富山空港を利用するインバウンド旅行の実施旅行会社に対して国内移動のためのバス経費を助成し、富山空港を利用した広域観光の推進を図った。 ・補助件数 国内線 1件 国際線 1件	航空政策課
インバウンド空港交通アクセス等向上事業 (1,476千円)	上海便を利用して来県する旅客の交通アクセスやおもてなしによる満足度向上を図るため、富山空港から富山駅へ直行する無料バスを運行した。	航空政策課

(3) 新幹線駅周辺等における賑わい創出・魅力向上

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
環水公園におけるウェルビーイング向上事業 (17,755千円)	富岩水上ラインとの連携や、県内若手経営者・学生などの企画力を活用したイベントを環水公園で開催した。 ・「キッズフェスタ」「サマーファウンテン」「ナイトクルーズ」「ナイトマーケット」などのイベントの実施 ・秋から冬にかけて園内を美しく彩るスイートイルミネーションの実施 など	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
学習支援船の運航事業 (2,500 千円)	富岩運河を活用した学習支援船（富岩水上ライン）の運航により、運河の歴史や水辺環境の学習を支援するとともに、富岩運河の魅力向上や活力ある地域づくりを図った。	観光振興室
富岩水上ライン利用促進事業 (4,800 千円)	富岩水上ラインの利便性向上や魅力発信などにより、利用促進を図った。 ・リーフレット・ポスター作成 など	観光振興室
イタリア料理イベント開催事業 (3,000 千円)	県産食材を活用したイタリア料理を楽しむイベントを富山市と共催し、県産食材の魅力発信とともに、料理教室や、富山駅での飲食、物販イベントを実施した。 ・Buono! #とやまイタリアン 2023 令和5年10月21日、22日 (出店：32店、参加者：17,200人)	観光振興室

3 富山らしい魅力創出

(1) 「立山黒部」の高付加価値化と魅力の維持向上

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
黒部ルート携帯電話エリア整備事業 (60,986 千円)	黒部ルートの携帯電話不感エリア解消に向けた各地点での携帯電話基地局整備が完了した。	デジタル化推進室
廃屋等撤去観光地景観改善支援事業 (14,333 千円)	観光地の景観改善を目的として、地域の観光まちづくりの取組みと連携した廃屋等撤去を支援した。 ・補助件数 2件	観光振興室
立山黒部アルペンルート除雪事業 (15,911 千円)	立山黒部アルペンルートの早期全線開通を図るため、立山ルート除雪組合が実施する除雪事業及びGPS除雪システム更新に対して助成した。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
立山黒部観光宣伝協議会負担金 (500 千円)	<p>富山県と長野県の関係地方公共団体、交通・観光事業者、観光団体等が連携して立山黒部アルペンルートを中心とした観光宣伝を推進することにより、誘客促進及び広域観光の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット作成 ・都市圏における宣伝PR活動 など 	観光振興室
観光地区開発事業費 (754 千円)	<p>五箇山地区の合掌造り家屋の茅葺屋根葺き替え等に係る経費の一部を助成し、合掌造りの建物の保全・整備を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助件数 1 件 	観光振興室
立山山麓レクリエーション地区整備推進協議会負担金 (312 千円)	<p>立山黒部アルペンルートの入口に位置する立山山麓地区の魅力を広く発信し、誘客促進及び広域観光の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット作成 ・標識や案内看板等の整備 など 	観光振興室
世界遺産登録推進事業 (6,500 千円)	<p>「立山・黒部」及び「近世高岡の文化遺産群」の世界文化遺産登録を推進するため、民間団体が行う事業やイベントを支援し、県民意識醸成と観光振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種啓発活動や講演会、現地見学会の開催等 	観光振興室
室堂周辺における Wi-Fi 運用事業 (2,300 千円)	<p>室堂地区の山小屋等に整備した TOYAMA Free Wi-Fi の運用を行った。</p>	デジタル化推進室、防災・危機管理課
立山博物館の管理運営 (199,567 千円)	<p>立山の雄大な自然と、それに育まれた立山信仰などの歴史や文化を紹介する立山博物館において、常設展や企画展（2回）の開催等により、観光客を含め、立山の魅力を県内外に発信した。</p>	文化振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
立山カルデラ砂防博物館管理運営費 (130,768千円)	<p>立山カルデラの自然・歴史や、100余年にわたり続けられている日本屈指の砂防事業について広く紹介する立山カルデラ砂防博物館において、年間を通じて常設展や企画展等を実施した。</p> <p>博物館の野外ゾーンである立山カルデラを実際に訪れて、立山カルデラの自然、歴史、砂防事業について理解を深める体験学習会(28回、527人参加)を実施し、参加者にPRを行った。</p>	砂防課
黒部宇奈月キャニオンルートを含む旅行商品造成事業 (35,837千円)	<p>「黒部宇奈月キャニオンルート」の一般開放・旅行商品化の開始に向けた、旅行商品の造成やガイド養成等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同行する専門ガイドを養成するための研修実施 ・旅行会社等を対象とした現地視察を開催し、旅行商品の造成を促進 ・「黒部ルート一般開放・旅行商品化準備会議」を開催 	観光振興室
黒部宇奈月キャニオンルート等プロモーション強化事業 (24,888千円)	<p>「黒部宇奈月キャニオンルート」の一般開放に向けて、黒部宇奈月キャニオンルート等の認知度向上や魅力発信、機運醸成を強化した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディアを活用したプロモーション ・イベントの実施、開業イベントの企画 等 	観光振興室
黒部宇奈月キャニオンルートを活用した立山・黒部魅力再発見事業 (61,793千円)	<p>「黒部宇奈月キャニオンルート」の一般開放に向けて、インバウンド受入体制整備をはじめとした立山黒部エリアにおける高付加価値化を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通訳ガイドの育成 ・モニターツアーの実施 等 	観光振興室
「立山黒部」持続可能性観光地調査支援事業 (再掲) (26,829千円)	<p>立山黒部貫光㈱が行う、立山黒部アルペンルートの全体構想の策定に向けた、立山ケーブルカー施設耐用性調査等の基礎調査や、観光客の利便性向上に資する、WEB予約システムの機能向上等のDX化の取組みを支援した。</p>	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「立山黒部」観光プロモーション等強化支援事業 (36,000 千円)	立山黒部地域の観光事業者による、宣伝広告やイベント開催経費等の観光プロモーションを支援した。	観光振興室
宇奈月温泉開湯100周年記念支援事業 (3,000 千円)	令和5年に開湯100周年を迎える宇奈月温泉への誘客を促進するため、実行委員会が実施する記念事業(記念式典、関連行事等)に対し支援した。	観光振興室
霊山立山文化観光コンテンツ創出事業 (1,939 千円)	立山博物館を中核とした立山エリアの文化観光を推進するため、立山登山者等に対し歴史・文化を発信するとともに、体験型ツアーの実施を支援した。 <ul style="list-style-type: none"> ・動画コンテンツの作成 動画2本(①立山博物館紹介動画、②立山曼荼羅絵解き解説動画)作成 ・霊山立山を巡る多彩な体験ツアーへの助成 	文化振興室
立山博物館を中核とした文化観光拠点計画の推進 (27,851 千円)	文化観光拠点計画の認定を受け、立山エリアにおける文化観光を推進し観光誘客と地域活性化を図るため、拠点施設である立山博物館の情報発信や展示の磨き上げを実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・WEBサイト「オンライン立山博物館」の構築 ・高精細「デジタル立山曼荼羅」展示 ・立山信仰1300年ストーリー理解促進(国指定重要文化財資料の3Dデータ化、デザインコンサルティングの実施) ・屋外施設案内看板の増設等・多言語化 	文化振興室

(2) 「世界で最も美しい富山湾」の魅力の創出・磨き上げ

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
官民連携「世界で最も美しい富山湾」活用・保全推進事業 (2,070千円)	官民がこれまで以上に連携・協力して富山湾の活用・保全に取り組む体制を推進するため、富山湾の活用・保全に関する新たな取組みに対し支援等を行った。 ・令和5年度：6件	観光振興室
富山湾岸サイクルツーリズム推進事業 (2,637千円)	サイクリングを通じた富山湾の魅力発信・誘客促進のため、「富山湾岸サイクリング2023」を開催した。 また、サイクリストに優しい宿、サイクルカフェの認定、とやまサイクルナビの保守・改修等を実施した。	観光振興室
サイクルツーリズム情報発信事業 (14,418千円)	台湾で広く情報発信を行うことを目的として、富山湾岸サイクリング大会2023に現地旅行会社、インフルエンサー等を招聘した。 石川県、福井県と連携し、サイクルツーリズムを活用した観光誘客の促進を図るため、北陸3県デジタルスタンプラリーを開催した。 SNSを使用するサイクリングライト層（旅行興味層）がターゲット自身を重ねられる等身大のモデルを起用し、新規素材と既存素材を併用し、サイクリングライト層（旅行興味層）だけでなく、普段からスポーツ自転車に乗るサイクリスト層にもアプローチするSNSアカウントの作成・運用を行った。	観光振興室
台湾サイクリングコース相互交流推進事業 (2,578千円)	「TAIPEI CYCLE 2024」への出展等を行った。 〔出展期間〕令和6年3月5日～3月7日 〔会場〕南港展覧館(台北)	観光振興室
「世界で最も美しい湾クラブ」総会派遣事業 (629千円)	韓国で開催された「世界で最も美しい湾クラブ」総会に参加し、富山湾の魅力を広く発信した。	観光振興室
富山湾の魅力発信事業 (1,322千円)	「世界で最も美しい湾クラブ」や富山湾を紹介するパネル展を開催したほか、首都圏で開催されたボートショーに富山湾ブースを出展し、富山湾の魅力を発信した。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
県民向け自転車普及啓発事業 (3,000 千円)	自転車のさらなる利用促進や安全・安心な自転車社会の実現に向けて、自転車普及啓発イベント「Go!Go!サイクルとやま」を開催した。 ① 場所：グランドプラザ 日時：令和5年6月17日 10時～16時 参加者数約700人 ② 場所：三井アウトレットパーク 北陸小矢部 日時：令和5年9月23日 10時～16時 参加者数約600人	観光振興室
令和5年度「富山湾岸サイクリングコース」利用状況調査 (3,630 千円)	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車走行台数の調査 場所：ひみ番屋街、今川橋付近、海の駅蜃気楼 日時：6月17日(土)、18日(日)、23日(金) 9月17日(日)、22日(金)、23日(土) ・利用者等へのアンケート調査 場所：ひみ番屋街、岩瀬カナル会館、海の駅蜃気楼 日時：6月17日(土)、18日(日) 9月17日(日)、23日(土) 富山県サイクリング協会の会員にも実施 	観光振興室
サイクリングコース整備事業 (80,456 千円)	「富山湾岸サイクリングコース」において、より安全で快適に富山湾の素晴らしい眺望を楽しんでいただけるよう、走行環境の整備を実施するとともに、海沿いにて新たな自転車専用道路等の整備を推進した。 <ul style="list-style-type: none"> ・矢羽根型路面表示等の整備 ・自転車専用道の整備 	道路課
海王丸保存活用事業 (74,683 千円)	文化的価値の高い帆船海王丸を永く保存し、海王丸パークで公開するとともに、総帆展帆や海洋教室などにより、海、船、港への関心を高め、観光振興につなげた。	港湾課

(3) 富山の強みを活かした高付加価値のコンテンツ造成

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
持続可能な観光地域づくり支援事業(再掲) (12,745千円)	新たな観光コンテンツの造成、販路開拓・売上向上・リピーターの獲得、安全安心で利便性の高い受入環境整備、祭り等の再生による観光誘客を支援した。 ・補助件数 21件	観光振興室
地産地消の推進 (10,840千円)	ポイント制度の実施など、県民ぐるみで県産品を大きく育てる地産地消運動を展開した。 ・県産品購入ポイント制度の実施 (約1万件の応募)	市場戦略推進課
「とやま食の匠」の認定・普及 (23千円)	富山県の特産品、伝統的な郷土料理や県産食材を活かした創作料理において、卓越した知識や技能を有し普及活動を積極的に行える個人や団体を、「とやま食の匠」として認定し、とやまの食の魅力を県内外に発信した。 ・新規認定 5個人・団体(計185個人・団体) ・講師派遣 14回	市場戦略推進課
富山米のブランド力向上 (84,221千円)	県内外での富山米販売促進キャンペーンや消費拡大のためのPRなどにより、「富富富」など富山米のPRとブランド力向上を図った。	市場戦略推進課
「富のおもちかえり」販路拡大・ブランド化事業 (1,090千円)	本県の農林水産品を活用したお土産品「富のおもちかえり」の販売拡大を目指し、セット販売の実証やPR販売を行った。	市場戦略推進課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「越中とやま食の王国フェスタ」の開催 (17,550千円)	「越中とやま食の王国フェスタ」(秋フェスタ・冬フェスタ)を開催し、富山県の食の魅力を県内外にアピールし、食による通年観光の促進を図った。 ・秋フェスタ(富山産業展示館、令和5年10月21日～22日) 県内を中心に約21,000人が来場。 ・冬フェスタ(「とやま食の匠」の県内12店舗、令和6年1月26日～2月25日 計31日間) 「とやま食の匠の越中料理と地酒を楽しむフェア」 とやま食の匠(創作の匠)が腕をふるう越中料理と富山の地酒を、一定の期間を通じて提供する「フェア」形式で実施。	市場戦略推進課
ふるさと認証食品(Eマーク)制度の普及 (266千円)	県内の良質な農林水産加工食品について、一定基準を満たす食品を「富山県ふるさと認証食品(Eマーク)」として認証し、県産特産品のイメージアップと有利販売を図った。 ・15品を新規に認証、令和5度末212品	市場戦略推進課
「富山のさかな・水産加工品」ブランド化推進事業 (450千円)	全国的に知名度が向上してきた「富山のさかな」のブランド力をより強固なものとし、一層の販路拡大等を図るため、「富山のさかな」を含む県産食材の輸送経費支援事業を実施した。 ・「とやまの食」新幹線・航空機輸送事業の実施	市場戦略推進課
「富山県推奨とやまブランド」推進事業 (7,893千円)	「富山県推奨とやまブランド」の魅力を、県内外に発信することにより、県産品の知名度の向上や本県のイメージアップを図った。 ・認定品を紹介するパンフレットを制作	広報・ブランディング推進室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「明日のとやまブランド」育成支援事業 (3,849千円)	事業者がブランド関係の専門家から助言、指導を受ける取組み等を支援することにより、新たな「とやまブランド」の育成を図った。 ・補助件数 8件	広報・ブランディング推進室
地域文化力向上・活性化支援事業 (4,271千円)	県内団体が取り組む特色ある文化事業を支援し、地域の文化力の向上や文化を活かした地域活性化を図った。 ・補助件数 10件	文化振興室
金岡邸・内山邸文化の魅力再生事業 (2,670千円)	国登録有形文化財の金岡邸・内山邸において、利用促進のための魅力発信事業を実施した。	文化振興室
とやまのお土産新ブランド創出事業 (11,400千円)	北陸新幹線敦賀開業を見据え、「美・癒し」をテーマとした新ブランド「美のこわけ」のテスト販売を開始したほか、ブランド浸透のためのPR等を実施した。	商工企画課
とやま中小企業チャレンジファンド 地域資源活用事業 (28,759千円)	産地の技術や農林水産品、観光資源等の地域資源を活用した新商品開発等を支援した。 ・採択件数 12件	地域産業支援課

(4) 「富山らしい」コンテンツの〔造成〕＝〔流通〕＝〔購入〕までのサプライチェーンの整備

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
まるごと旅行商品化プロジェクト実施事業 (14,933千円)	県内市町村、観光協会、観光事業者等と連携し、着地型旅行商品の商品化をサポートするとともに、大都市圏を中心とした大手旅行会社への営業活動を行い、旅行会社による富山旅行商品の造成を促進した。	観光振興室

(5) 体験型・滞在型の多様なツーリズムの展開

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
産業観光魅力創出事業(再掲) (1,913千円)	産業観光魅力創出補助金により、県内企業の受入態勢の整備に対する支援を行った(10件)。	観光振興室
「富山で学ぼう!」教育旅行誘致促進事業 (2,416千円)	県内事業者と旅行会社によるオンライン商談会の開催や、首都圏・関西圏の旅行会社への出向宣伝を実施し、富山県への教育旅行誘致を図った。 また、県内事業者や観光担当者に対する誘致検討会の実施により、県内の受入体制の強化を図った。	観光振興室
アートのまちめぐりパスポート事業 (3,000千円)	富山県美術館をはじめ、県内の魅力的・個性的な美術館・博物館を巡るパスポートの造成・販売等を実施した。	観光振興室
うみとやまローカルラボ(夏編・冬編)の開催 (4,217千円)	県内の中山間地域を中心に特色ある活動に取り組むローカルプレイヤーとの交流体験企画「うみとやまローカルラボ(夏編・冬編)」を開催し、中山間地域の魅力の発掘・発信を通して関係人口の拡大を図った。 ・開催期間 夏編:令和5年9月23日(土)、24日(日) 冬編:令和6年2月17日(土)、18日(日) ・参加者 計40名	ワンチームとやま推進室
プロスポーツチーム地域貢献活動等活性化事業 (7,412千円)	プロスポーツチームの運営会社が取り組む地域貢献活動等の活性化に資する事業を支援し、地域活性化及び観光振興を図った。 ・補助実績 3団体 ・主な事業内容 ホームゲームでの県民参加型イベントの実施	スポーツ振興課
マラソン大会開催事業 (87,463千円)	北陸新幹線開業を機に県民総参加によるスポーツ振興や富山の魅力創造、関係人口の拡大を図るため、「富山マラソン2023」の開催を支援した。 ・富山マラソン実行委員会等の開催 ・富山マラソン2023の開催(14,646名出走)など	スポーツ振興課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
県民向け自転車普及啓発事業 (再掲) (3,000千円)	自転車のさらなる利用促進や安全・安心な自転車社会の実現に向けて、自転車普及啓発イベント「Go!Go!サイクルとやま」を開催した。 ③ 場所：富山市グランドプラザ 日時：令和5年6月17日 10時～16時 参加者数約700人 ④ 場所：三井アウトレットパーク 北陸小矢部 日時：令和5年9月23日 10時～16時 参加者数約600人	観光振興室
富山県自転車活用推進事業費補助金 (1,719千円)	自転車の活用推進を図る事業のうち、「富山県自転車活用推進計画」に記載された施策の推進に資する事業に対して支援した。 補助実績 7件	観光振興室
富山県美術館管理運営費 (584,922千円)	アートとデザインとつなぐ美術館として、世界的コレクションを新しい切り口やテーマ、見せ方で紹介する富山県美術館において、常設展や企画展（5回）の開催等により、観光客を含め、多彩な美術の魅力を県内外に発信した。	文化振興室
水墨美術館管理運営費 (177,361千円)	水墨画など特色のある日本文化の美を広く紹介する水墨美術館において、常設展や企画展（6回）の開催等により、観光客を含め、多彩な美術の魅力を県内外に発信した。	文化振興室
高志の国文学館管理運営費 (234,059千円)	富山県ゆかりの文学に親しみ学ぶ拠点となる高志の国文学館において、企画展や講演会の開催のほか、ふるさと文学振興のための普及啓発事業等を実施し、越中万葉をはじめとした富山県の文学の魅力を県内外に発信した。 ・企画展（5回） ・ふるさと文学県民講座等の開催（23回）	文化振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
利賀芸術公園費 (265,786千円)	<p>「舞台芸術特区T O G A」における世界的な舞台芸術拠点づくりの推進により、質の高い芸術文化を創造・発信するとともに、交流人口の拡大を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界演劇祭「S C O Tサマー・シーズン 2023」の開催 ・国際的な舞台芸術人材育成、青少年への普及・教育 	文化振興室
イタイタイ病資料館管理運営費 (86,632千円)	<p>イタイタイ病に関する貴重な資料を収集・保管し、その教訓等を後世に継承するための施設展示や情報発信を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語り部講話、特別企画展 ・資料の収集及び保管 等 	健康対策室
とやま帰農塾推進事業 (4,860千円)	<p>「豊かな自然に囲まれた田舎暮らし」に興味や憧れを持つ都市住民を、自然に恵まれた本県の農山漁村に受講生として迎え、農林水産業や伝統文化体験を盛り込んだ滞在型グリーン・ツーリズム「とやま帰農塾」を開講し、都市と農村との交流・関係人口の拡大、移住の促進、観光の振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とやま帰農塾の開講（7市町 全9講座） 	農村振興課
とやま農泊ネットワーク推進事業 (9,276千円)	<p>富山県における農泊の広域的な展開・振興を目的としてR4に設立した「富山県農泊推進ネットワーク会議」を引き続き運営するとともに、農泊地域の人材育成や、県内の農泊地域への誘客を促進する取組みを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山県農泊推進ネットワーク会議の開催（2回） ・先進地視察（1回）、各種研修（3回）の開催 ・ツーリズムE X P Oジャパン2023への出展 	農村振興課
サイクリングコース整備事業 (再掲) (80,456千円)	<p>「富山湾岸サイクリングコース」において、より安全で快適に富山湾の素晴らしい眺望を楽しんでいただけるよう、走行環境の整備を実施するとともに、海沿いにて新たな自転車専用道路等の整備を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・矢羽根型路面表示等の整備 ・自転車専用道の整備 	道路課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
うるおいある景観づくり推進事業費 (6,135千円)	<p>地域の歴史や文化などを活かした個性豊かな景観を守り育てるとともに、観光振興の視点にも立った良好な景観づくりを推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観づくり顕彰「うるおい景観とやま賞」の表彰 ・景観づくり住民協定に基づく修景に対する支援 ・市町村の景観づくりの普及啓発に対する支援など 	建築住宅課
環水公園におけるウェルビーイング向上事業 (再掲) (17,755千円)	<p>富岩水上ラインとの連携や、県内若手経営者・学生などの企画力を活用したイベントを環水公園で開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「キッズフェスタ」「サマーファウンテン」「ナイトクルーズ」「ナイトマーケット」などのイベントの実施 ・秋から冬にかけて園内を美しく彩るスイートイルミネーションの実施 など 	観光振興室
「越中とやま食の王国フェスタ」の開催(再掲) (17,550千円)	<p>「越中とやま食の王国フェスタ」(秋フェスタ・冬フェスタ)を開催し、富山県の食の魅力を県内外にアピールし、食による通年観光の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋フェスタ(富山産業展示館、令和5年10月21日～22日) 県内を中心に約21,000人が来場。 ・冬フェスタ(「とやま食の匠」の県内12店舗、令和6年1月26日～2月25日 計31日間) 「とやま食の匠の越中料理と地酒を楽しむフェア」 とやま食の匠(創作の匠)が腕をふるう越中料理と富山の地酒を、一定の期間を通じて提供する「フェア」形式で実施。 	市場戦略推進課
「富山のさかな・水産加工品」ブランド化推進事業(再掲) (450千円)	<p>全国的に知名度が向上してきた「富山のさかな」のブランド力をより強固なものとし、一層の販路拡大等を図るため、「富山のさかな」を含む県産食材の輸送経費支援事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「とやまの食」新幹線・航空機輸送事業の実施 	市場戦略推進課

(6) インバウンド客のニーズに対応した観光コンテンツの開発・磨き上げ

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
黒部宇奈月キャニオンルートを活用した立山・黒部魅力再発見事業(再掲) (61,793千円)	「黒部宇奈月キャニオンルート」の一般開放に向けて、インバウンド受入体制整備をはじめとした立山黒部エリアにおける高付加価値化を実施した。 ・通訳ガイドの育成 ・モニターツアーの実施 等	観光振興室
欧米豪観光客誘致基盤体制強化事業 (18,999千円)	欧米豪市場からの誘客促進のため、観光コンテンツの磨き上げ及び海外レップによるコンサルティング業務を実施した。	観光振興室

Ⅲ ターゲットに応じた戦略的なプロモーション

1 三大都市圏を中心とした国内誘客の推進

(1) 北陸新幹線敦賀開業・大阪延伸を見据えた戦略的なプロモーション

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
J R連携富山ファン創出事業 (再掲) (22,044 千円)	首都圏での富山ファン創出・誘客促進を図るため、J R 会員組織と連携した情報発信や誘客を行った。 ・ J R 東日本の旅行会員組織「大人の休日倶楽部」と連携したツアー・趣味の会講座の開催 ・ 駅たびコンシェルジュ向け勉強会等の開催 ・ 首都圏の主要な駅での物産展の開催 など	観光振興室
北陸三県通年誘客キャンペーン事業 (10,000 千円)	北陸三県や北陸経済連合会、J R 西日本等と連携し、大都市圏に向けた一体となった誘客キャンペーンを通年で展開した。	観光振興室
北陸三県誘客促進連携協議会負担金 (3,000 千円)	北陸新幹線開業効果の持続・深化を図るため、北陸三県及び J R との連携のもと、より効果的な北陸観光キャンペーン事業を展開した。 ・ 観光素材記者体験会 ・ 観光素材説明会の開催 ・ 観光情報誌「北陸物語」の発行 など	観光振興室
北陸広域観光推進協議会負担金 (2,500 千円)	北陸への誘客拡大を図るため、北陸三県と各県の商工関係団体、観光連盟などにより協議会を組織し、連携を図りながら、観光キャンペーン及び観光情報の発信を行った。 ・ 北陸の観光パンフレット・マップの作成 ・ 北陸三県観光連盟との共同宣伝事業 など	観光振興室
北陸 D C 実行委員会負担金 (15,000 千円)	北陸 D C に向け、北陸三県等からなる実行委員会において、全国宣伝販売促進会議の開催や J R と連携したプロモーション等を実施した。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
広域周遊観光促進事業 (7,371千円)	<p>広域周遊観光を促進するため、関係県と連携したプロモーションなどを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本三霊山を活用したPR (首都圏アンテナショップでのPR等) ・長野県との周遊促進(モデルコースのPR等) ・岐阜県との周遊促進(周遊プランのPR等) 	観光振興室
飛越能経済観光都市懇談会負担金 (100千円)	<p>飛騨、富山県西部及び能登地域の県、市町村、経済団体等が連携して地域の観光資源のPR等を行い、広域観光の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド向け観光ポータルサイトの構築 ・SNS広告配信 など 	観光振興室
(公社)日本観光振興協会負担金 (718千円)	<p>(公社)日本観光振興協会への負担金の拠出により、観光旅行の利便性向上など、同協会の事業に対し支援を行った。</p>	観光振興室
(公社)日本観光振興協会観光情報システム負担金 (200千円)	<p>(公社)日本観光振興協会へのシステム負担金の拠出により、自治体や市町村観光協会等による国内旅行ポータルサイト「全国観るなび」及び同更新システムの運営を支援した。</p>	観光振興室
「ぶり・ノーベル街道ウォーク」負担金 (1,000千円)	<p>ノーベル賞受賞者にゆかりの深い国道41号沿線を散策する「ぶり・ノーベル街道ウォークツアー2023」(富山市大沢野笹津編、富山市岩瀬編)を開催した。また、飛騨市神岡町まちあるき編は、クマの出没状況を鑑みて中止とし、代替事業として飛騨市満喫バスツアーを実施した。</p>	観光振興室
団体観光送客強化促進事業 (24,280千円)	<p>富山-羽田便を利用する羽田発の団体旅行商品に対して、助成を実施した。</p>	航空政策課
北陸イメージアップ推進会議負担金 (1,600千円)	<p>北陸経済連合会、北陸電力及び北陸三県で推進会議を構成し、北陸の魅力を地域内外に発信して、北陸のイメージアップを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北陸3県の観光ホームページ「北陸物語」の更新 ・Facebook「北陸物語」での情報発信 など 	広報・ブランディング推進室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
飛越地域等との 交流推進事業 (536 千円)	<p>飛越地域の自然文化等の優れた地域資源を活かしながら地方創生を図る「日本の心のふるさとを守り育てる飛越協議会」において、当該地域の交流と連携を推進するとともに、自然をはじめ、古くから伝わる祭り等のPR活動を全国に向け展開した。</p> <p>(協議会の主な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットやホームページによるPR ・飛越地域への誘客の促進 	行政経営室
観光交通利用促進・旅行商品造成支援事業 (12,500 千円)	<p>北陸新幹線の敦賀延伸や北陸DCに向け、定期観光路線の運行維持・利用促進を図るため、定期観光路線を活用した旅行商品の造成等を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行商品の造成に向けた必要な運行経費への助成 ・旅行商品の企画伴走支援 など 	観光振興室
メディア連携情報発信事業 (2,594 千円)	<p>北陸新幹線の敦賀延伸や北陸DCに向け、メディアを活用した情報発信の強化を図るため、市町村等と連携して首都圏メディアへの情報発信等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏メディアを対象に観光情報等を発信する会議の実施 ・メディア向け情報発信の手法を学ぶ研修会の実施 	観光振興室
敦賀開業・北陸DC北陸三県誘客促進事業 (32,759 千円)	<p>北陸三県が連携し、大手旅行会社による全国的な誘客キャンペーンや、マスメディアを活用した情報発信等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏メディアを対象とした北陸観光PR会議の開催 ・関西圏旅行会社店舗と連携した富山キャンペーンの実施 ・関西圏主要駅での観光PRイベントの開催 など 	観光振興室
敦賀開業・北陸DC旅行商品造成・利用促進事業 (10,070 千円)	<p>富山の認知度向上に向けた観光素材の磨き上げや、全国宣伝販売促進会議等における観光素材のPRを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社向け富山県単独パンフレットの作成 ・エクスカージョンの実施 等 	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
敦賀開業・北陸DC食の魅力による富山ファンづくり事業 (4,450千円)	北陸DCを見据え、本県の多彩な「食」の魅力を発信・体験できるイベントを開催した。 ・県内各地の地酒や珍味、スイーツなどのメニューを提供 ・県内観光地を新幹線駅3駅を中心とする3つのエリアに分けて観光情報を発信	観光振興室
関西圏情報発信拠点整備推進事業(再掲) (24,773千円)	令和6年7月末に、KITTE大阪にて北陸三県の情報発信拠点である「HOKURIKU+」の開設準備を進めるために、協議会を設置し、店舗設計・内装工事等を実施した。	観光振興室
開業直前!冬の北陸旅キャンペーン事業 (550千円)	主要新聞紙による共同広告、SNS投稿キャンペーンを実施する予定であったが、能登半島地震を受けて、大規模なキャンペーンは中止し、地震の影響に関する正確な情報を発信した。	観光振興室

(2)「富山ファン」に届く効果的な情報発信

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
立山黒部観光宣伝協議会負担金(再掲) (500千円)	富山県と長野県の関係地方公共団体、交通・観光事業者、観光団体等が連携して立山黒部アルペンルートを中心とした観光宣伝を推進することにより、誘客促進及び広域観光の促進を図った。 ・パンフレット作成 ・都市圏における宣伝PR活動 など	観光振興室
「旬のとやま旅」情報発信事業(再掲) (15,000千円)	コアな富山ファンやリピーターの獲得に繋げるため、自然や食文化、伝統文化等の旬の富山県ならではの観光の魅力をデジタルと紙媒体を有効に組み合わせながら制作・発信・検証した。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「いきいき富山館」管理運営事業 (25,949千円)	東京のアンテナショップ「いきいき富山館」の催事コーナーでの実演販売や、館外での観光・物産キャンペーン等の開催により、本県の物産・観光の魅力を首都圏に情報発信した。 ・各種特産品フェア、実演販売 ・企業での特産品販売、物産観光展への出展など	観光振興室
「ツーリズムEXPOジャパン」出展事業(再掲) (7,970千円)	世界最大級の旅のイベント「ツーリズムEXPOジャパン 2023」に富山県ブースを出展して本県への誘客を促進した。	観光振興室
富山県の物産と観光展の開催 (再掲) (6,963千円)	本県への誘客を図るため、JR浦和駅(さいたま市)において、令和6年1月13日～14日に「とやまの観光とうまいもの展」を開催し、本県の物産と観光地の魅力を発信した。	観光振興室
北海道における富山県の物産と観光の紹介事業 (3,000千円)	本県への誘客や特産品販売の拡大を図るため、北海道富山会館において、本県の物産の展示、紹介及び観光宣伝等を実施した。	観光振興室
観光パンフレット等作成 (3,874千円)	本県への誘客を図るため、県内の主要な観光資源と地図情報をあわせて紹介する「とやま観光イラストMAP」を作成・配布した。	観光振興室
とやま観光情報発信強化事業 (再掲) (12,708千円)	「とやま観光ナビ」を中心とした観光情報の発信や、WEB広告・SNS等を活用し、サイトへの流入増加に取り組み、デジタルでの観光情報発信を強化した。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
観光キャンペーン負担金、観光振興事業補助金 (35,402千円)	<p>(公社)とやま観光推進機構が実施する誘致宣伝・普及活動や観光振興の事業等に対し、負担金及び補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般消費者向け観光PR事業 (新聞、雑誌、ラジオ等による情報発信 など) ・旅行会社向け観光PR事業 (出向宣伝、観光説明会 など) ・観光PR資料作成事業 (各種観光情報誌の発行 など) 	観光振興室
冬季誘客促進事業 (564千円)	<p>冬季は、観光客の入込数が落ち込むこと、天候や積雪等により個人旅行者の移動手段の確保が困難になることから、多くの観光客を呼び込むため、団体ツアーや旅行商品造成のため、広告費の一部を支援した。</p>	観光振興室
広域連携による観光PR事業 (2,500千円)	<p>百貨店やショッピングモールが主催する北陸三県等との合同物産展等において、北陸ほか近隣各県との連携を図り、エリア一体的な観光PRを実施した。</p>	観光振興室
首都圏情報発信拠点運営事業 (149,785千円)	<p>首都圏において本県の魅力をPRするため、物販、飲食、観光・定住・UIJターンに係る情報提供等の機能を有する「日本橋とやま館」から、上質なライフスタイルを発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度来館者数：約25万2千人 ・令和5年度売上げ：約3億5700万円 	観光振興室
首都圏とやまの魅力発信事業 (再掲) (25,621千円)	<p>首都圏において富山県の魅力をPRするため、日本橋とやま館を活用し、館主催及び県内市町村、県庁内各課との共催イベントの開催や、本県の魅力を紹介するフリーペーパーの発行、スタンプラリーや地域イベントへの参加などにより、本県独自の魅力について情報発信を行った。</p>	観光振興室
首都圏観光・定住促進事業 (13,192千円)	<p>本県への観光・定住を促進するため、日本橋とやま館において、観光・定住に関する相談及び情報提供を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度相談対応：延べ約1万4千人 	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
北陸新幹線延伸に向けた首都圏魅力発信強化事業(再掲) (6,500千円)	<p>首都圏メディアへのリリース配信や、人的ネットワークを活用した魅力発信及びとやまの地域伝統芸能(おわら、麦屋節、こきりこ等)の披露や体験等による情報発信を実施することにより、首都圏での関係人口の創出を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リリース配信 33回 ・「富山の極味 in T o k y o」の作成・配布 ・首都圏イベント等でのとやまの地域伝統芸能の披露・体験等 8回 等 	首都圏本部
全国観光需要促進事業(再掲) (2,053,690千円)	<p>コロナ禍における観光需要の創出のため、引き続き、全国旅行支援等を実施した。</p> <p>○富山で休もう。とやま観光キャンペーン(全国旅行支援)【第2弾】 期間：令和5年1月10日～令和5年9月30日 (※令和5年7月1日～令和5年9月30日は団体旅行のみ) 実績：宿泊割引額 13億1,398万円 (58万3,805人泊)</p> <p>また、全国旅行支援の利用を促進するため、各種プロモーションを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道における観光物産展開催 ・富山湾鮭オブジェの制作 ・観光ノベルティグッズの制作 	観光振興室
関係人口創出に向けたオウンドメディア構築事業 (41,305千円)	<p>本県の認知度向上やイメージ形成、関係人口の創出に向け、新たなWEBサイトを構築し、県内外へ富山の魅力を発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年11月8日運用開始 ・記事掲載数 35本 	広報・ブランディング推進室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ワクワクとやま 応援寄附金 (55,090千円)	一定額以上のふるさと納税(寄附)者に対し、県特産品等を贈呈することにより、特産品や観光資源のPRを行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットの作成、配布 ・ホームページでのPR ・寄附金額に応じ、「富富富」、アイスクリームスプーン、地酒、ほたるいか詰合せ等を贈呈 【令和5年度：寄附件数 10,984件 寄附金額 240,307千円】	税務課
富山くすりフェア開催事業 (1,471千円)	(一社)富山県薬業連合会が開催した「富山くすりフェア」を支援し、富山のくすりのイメージアップと販路拡大を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・東京都の商業施設にて「富山のくすり」の歴史や県内医薬品産業を紹介するイベントの開催 令和6年2月29日～3月1日 	くすり振興課
「富山のくすり」販路拡大推進事業 (642千円)	(一社)富山県薬業連合会が日本橋とやま館(東京都)において開催した「出会いが効く越中富山くすりフェア」を支援し、大都市圏において「富山のくすり」の魅力を発信した。 <ul style="list-style-type: none"> ・配置薬、富山のくすり関連雑貨の販売 令和6年2月16日～18日 	くすり振興課

(3) 映画等の誘致や多様なメディアの活用・連携

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
映画を活用した観光PR事業 (1,300千円)	本県が舞台となった映画の公開にあわせて、ロケ地富山の魅力や観光情報を発信した。	観光振興室
木曾義仲・巴御前魅力発信事業 (850千円)	越中富山を舞台に活躍した「義仲・巴」のゆかりの史跡を巡るバスツアーや講演会の開催などにより、「義仲・巴」を活用した観光振興を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・埴生護国八幡宮などの史跡を巡る史跡探訪バスツアーの実施 ・講演会の開催 	行政経営室

2 海外誘客の推進

(1) 海外の個人旅行者に届く効果的な情報発信

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
訪日観光客向け 観光情報発信・ 取得利便性向上 事業 (3,430千円)	海外に富山県の観光資源等をPRするため、外国語パンフレット等を制作した。	観光振興室
富山 week in LONDON 2023 プロ モーション事業 (18,399千円)	欧州からの高付加価値旅行者の誘客につなげるため、欧州の中でも旅行会社が集積するロンドンで、富山の暮らしや伝統文化等の体験・展示や観光PR、旅行会社向けセールス・商談等を実施するとともに、欧州での県産品の販路・輸出拡大のため、食品や工芸品のPRや現地商社等への商品提案を実施した。 ・富山 week in ロンドン (令和5年10月30日～11月6日) @ JAPAN HOUSE、パンテクニコン、大和日英基金 他	観光振興室
インバウンド向けHP及び情報 発信強化事業 (再掲) (13,700千円)	外国人観光客のさらなる誘致のため、HPとSNSの一体的かつ効果的な運用及び情報発信を行った。	観光振興室

(2) 近隣県等との連携によるプロモーションや広域周遊の促進

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ビジット・トヤマ 広域連携強化 事業 (21,701千円)	北陸新幹線沿線地域や近隣県と連携し、インフルエンサー招聘による情報発信や現地商談会の実施等により、「新ゴールデンルート」など広域観光周遊ルートの形成促進を図った。	観光振興室
(一社) 中央日 本総合観光機構 負担金 (3,000千円)	中部9県3市の観光事業に関する中枢機関である(一社)中央日本総合観光機構の会員として、域内の観光資源のPR等を行い、広域観光の促進を図った。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
北陸国際観光テーマ地区推進富山協議会負担金 (2,800千円)	北陸3県及び管内自治体等と組織している「北陸国際観光テーマ地区推進協議会」において、海外有力メディアを活用した記事広告、情報発信を実施するなど、広域観光の促進を図った。	観光振興室
(独)国際観光振興機構負担金 (680千円)	(独)国際観光振興機構(JNTO)の賛助団体に加入し、JNTOの海外事務所のネットワークを活用した訪日旅行市場に関する情報収集や海外へのPRにより、本県の海外での認知度向上を図った。	観光振興室

(3) 東アジア・東南アジアからのリピーター客の取り込み

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
台湾観光案内サポーター設置事業 (110千円)	台湾観光案内サポーターを設置し、繁体字での情報発信や観光事業者と台湾人観光客とのコミュニケーションを支援した。	観光振興室
ANA連携東南アジア等富裕層誘客促進事業 (6,000千円)	シンガポール現地旅行会社へのセールス及び旅行会社向けFAMトリップを2回実施した。	観光振興室
観光客誘致コンサルティング事業 (3,360千円)	台湾、香港、タイからの誘客促進のため、本県観光情報の継続的な発信、現地旅行事業者等との関係構築、現地ニーズに即した旅行商品造成の働きかけ等を実施した。	観光振興室
国際観光誘客促進PR事業 (6,564千円)	台湾及びタイの旅行博へ出展し、県内観光地の情報発信を実施した。	観光振興室
台北便運航再開観光プロモーション事業 (12,000千円)	台北市内の主要駅での壁面広告やWEB広告を実施して、県内観光地の知名度向上を図った。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山空港インバウンド利用誘客促進事業 (13,070千円)	富山ー台北便、富山ー上海便を利用したインバウンド誘客に向けて支援を行った。	観光振興室
台湾向け観光素材磨き上げ事業 (2,300千円)	台湾のリピーター層及びラグジュアリー層の誘客促進を図るため、プロモーションに活用できる観光素材やモデルコースを制作した。	観光振興室
日韓観光振興促進事業 (886千円)	日韓の観光当局や観光関係団体が一堂に集う交流会を開催するにあたり、本県の魅力等をPRした。	観光振興室
大連事務所運営費 (25,867千円)	富山県と中国との交流拡大を推進する大連事務所を拠点に、観光振興のためにオンラインを含めた各種取り組みを展開し、アフターコロナにおける中国からの観光客の誘致促進を図った。 ・「天皇誕生日祝賀レセプション」、事業者による特産品のオンライン紹介販売等での観光PR活動 ・中国の旅行会社等との面談、情報収集、PR等	国際課
とやまの農林水産物輸出促進事業 (37,175千円)	令和4年3月に策定した「とやま輸出ジャンプアップ計画」の目標達成に向けて、とやま輸出コミュニティにおいて輸出に関心のある事業者を対象としたセミナーを開催するほか、リーディングプロジェクトや地域商社を中心とした輸出プラットフォームの構築に取り組んだ。	市場戦略推進課

(4) 欧米豪の富裕層など新規市場の開拓

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
欧米豪観光客誘致基盤体制強化事業 (再掲) (18,999千円)	欧米豪からの誘客促進のため、観光コンテンツの磨き上げ及び海外レップによるコンサルティング業務を実施した。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山 week in LONDON 2023 プロモーション事業 (再掲) (18,399 千円)	欧州からの高付加価値旅行者の誘客につなげるため、欧州の中でも旅行会社が集積するロンドンで、富山の暮らしや伝統文化等の体験・展示や観光PR、旅行会社向けセールス・商談等を実施するとともに、欧州での県産品の販路・輸出拡大のため、食品や工芸品のPRや現地商社等への商品提案を実施した。 ・富山 week in ロンドン (令和5年10月30日～11月6日) @JAPAN HOUSE、パンテクニコン、大和日英基金 他	観光振興室
クルーズ客船の安全・安心な受入体制確保事業 (5,445 千円)	受入体制の構築に向けた専門家との連携、クルーズ客船の誘致を図った。	観光振興室
クルーズプロモーション強化事業 (20,681 千円)	船社・旅行会社への誘致活動の強化、クルーズ客船誘致に係るコーディネーターやセールス専門員の配置等を実施し、クルーズ客船の誘致を図った。	観光振興室

3 ビジネス観光誘客の推進

(1) ビジネス客向けの旅行商品の造成

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
学会等開催事業費補助金 (13,928 千円)	学会等の開催に係る費用の一部を助成し、誘致促進を図った。 ・補助件数 23 件	観光振興室

(2) ものづくり県としての強みを活かした産業観光の促進

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
産業観光魅力創出事業 (再掲) (1,913 千円)	産業観光魅力創出補助金により、県内企業の受入態勢の整備に対する支援を行った (10 件)。	観光振興室

(3) ワークेशन・ブレジャー等ビジネス観光の誘致

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ワークेशन・テレワーク推進事業(再掲) (5,075千円)	テレワークなど新しい働き方の変化に対応し、富山ならではのワークेशनを推進するため、戦略的なPRや県外企業・個人等への支援を実施した。 ・県内でのワークेशन実施者への助成 利用者 延べ80名	成長戦略室

(4) 本県の特徴等を活かした戦略的なコンベンション等の誘致

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
国際会議「富山で開こう。」推進事業 (1,365千円)	ICCA(国際会議協会)のデータベースを活用し、国際会議の誘致を強化した。	観光振興室
(公財)富山コンベンションビューロー補助金 (14,780千円)	(公財)富山コンベンションビューローの運営経費等に対し補助し、当該団体が実施する主催者支援事業及び誘致活動等を支援した。	観光振興室
コンベンション指導情報提供業務委託事業 (5,000千円)	本県の代表的なコンベンション施設である富山国際会議場を運営する富山大手町コンベンション(株)を活用し、県や主催者への情報提供、施設の利用調整等を実施した。	観光振興室
コンベンション誘致促進事業 (2,676千円)	コンベンションに関する情報をデータベース化し、コンベンションの誘致を効果的に実施した。	観光振興室
コンベンション誘致宣伝事業 (670千円)	本県の優れたコンベンション開催環境をアピールするために、商談会へ出展した。本県のコンベンション開催支援制度等をPRするとともに、会議施設や宿泊施設、エクスカーションのモデルコース等を紹介し、コンベンションの誘致に努めた。 ・第33回国際MICEエキスポ(IME2024) 令和6年2月15日	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
誘致訪問活動& フォローアップ 調査事業 (455千円)	県内及び首都圏等において、コンベンションの主催者等を訪問し、積極的な誘致活動を展開し、本県へのコンベンションの誘致促進を図った。	観光振興室
富山国際会議場 運営費補助金 (74,895千円)	本県の代表的なコンベンション施設である富山国際会議場の運営等を支援した。	観光振興室
学会等開催事業 費補助金(再掲) (13,928千円)	学会等の開催に係る費用の一部を助成し、誘致促進を図った。 ・補助件数 23件	観光振興室
富山型MICE 連携推進事業 (410千円)	国際会議等の誘致に影響力を持つ、JNTOが認定したMICEアンバサダーを招聘するファミツアーを実施し、富山県内への国際会議誘致の推進を図った。 ・令和5年5月22日、23日 MICEアンバサダー7名参加	観光振興室

(5) 富山の魅力を活かした会場やアフターコンベンション等の提案

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
コンベンション タクシー助成事 業 (355千円)	県外からのコンベンション参加者が県内を観光する際のタクシー料金の一部を助成することにより、アフターコンベンションを支援した。 ・補助件数 32件	観光振興室
おもてなしタク シードライバー 実践力アップ事 業(再掲) (914千円)	タクシードライバー向けに画像付きの音声講座を配信し、観光案内や接客等、おもてなし力の向上を図った。 ・20本制作、配信 (令和5年4月12日から令和6年2月16日まで) ・季節毎のイベント情報や接客、インバウンド観光客対応(英会話)など タクシー利用者の満足度向上を図るため、質の高いおもてなしやきめ細かなサービスを提供できる「おもてなしタクシードライバー」を表彰し、ドライバーの接客やサービス意識の向上を図った。 ・受賞者6名	観光振興室